

令和元年度の事業報告書

特定非営利活動法人BeCOM
代表理事 西田美樹

1 事業の成果

■ 2019 COM杯 英語・日本語スピーチ大会

2019年12月15日(日) 10:00~18:00 / 銚子商工会議所1F大会議室

2019COM杯実行委員会を組織し、その事務局として下記の役割を担いました。

- 1) 実行委員会の設置と開催～事業計画案・予算案の提出、関係者間の連絡調整
英語・日本語教育に携わる BeCOM 会員の他、市内外の公教育・民間教育機関における英語指導者、銚子市国際交流協会会員、及び有志高校生による実行委員会を設置。
- 2) 広報活動～ツールの作成、大会参加者の募集活動、資金調達含む大会の広報活動
資金調達については、地域の諸団体・事業所の皆様からの寄付財源を充当するほか、資金調達と広報につなげる試みとして、一般の方を対象とした「英語レッスン付き寄付プログラム “チャリティー・イングリッシュ・レッスン”」を主催。(2度開催。7名参加。)
- 3) 問合せ窓口機能～メール、電話、ファックス等で対応
- 4) 大会に必要な準備物の作成と調達～プログラム・看板・賞状など
- 5) 大会運営～会場設営・受付・コンテスタントケア・審査・集計・表彰・結果報告
大会出場やスタッフ参加経験のある高校生を含め、実行委員として2名、当日のスタッフとして7名の学生が思いをもって運営に参加。学生にとっても、地域の活動の中で、役割を持ち、考え行動できる経験の場となった。
- 6) 事業内容の検証と分析
節目となる第20回大会を来年に控え、改めてCOM杯の役割・現状の課題から、対象者・発表時間・審査基準などの詳細まで、実行委員の多様な視点で協議を重ねた。

◎大会には県内外から45名が出場。

<英語暗唱Ⅰ>小学5年生から中学1年生まで10名

練習から登壇発表をするまでの積み重ね・経験に加え、発表後の英語教育者によるグループ指導は、今後への意識を更に高める機会となった。

<英語暗唱Ⅱ>中学2年生から大学生まで12名

分量のある良文を、例え作られた文でも、自分の言葉となるまで繰り返し練習し、「自分のスピーチ」として聞き手に伝わる発表となるよう目指し、弁論部門への基礎を築いた。

<日本語暗唱>日本語学習初期にある、日本語を母国語としない学生・一般2名

日本語弁論部門への挑戦が難しい日本語学習初期にある方を対象とし、1分半の暗唱部門を新設。又、練習の参考となる動画をYouTubeで公開。出場者が言葉を丁寧に伝える様子は、聴衆にも努力の伝わる発であった。

<英語・日本語弁論部門>中学2年生から一般まで。英語弁論14名、日本語弁論7名(母国語ではないいずれかの言語を選択)

「聞き手に分かりやすい表現・構成を考え、自分の考えを伝える力の育成」という当部門の目標をより反映させ、「内容」「構成」に重きをおいた審査基準に改訂。

大会では、各出場者が2019大会テーマ「gift」に対する自分の「伝えたいこと」と向き合い、試行錯誤を重ねたことが伺える個性豊かな弁論が聞かれた。

■ことばの冒険事業（ことばの冒険の部屋・ことばの冒険の旅）

- ・ことばの冒険の部屋：令和1年9月14日～令和2年2月8日 2組各7回 計22名
すきくるステーションなど
- ・ことばの冒険の旅（おすすめの本発表会）：令和2年2月16日（日） 計23名
銚子市立明神小学校 体育館

地域で生まれ、育つ子供たちが、豊かで前向きな言語生活を送ることを願い、令和1年度も「ことばの冒険」事業を実施。

今年度7回行った「ことばの冒険の部屋」には、2つの日程に小学校1年生～4年生、計22名が参加。スタッフや参加者同士による本の紹介や、いろはかるた、短歌などのことば遊び、アニメーション（※）、読書や BeCOM 版「日本語暗唱集」の音読などを通して「本」や「ことば」に触れ、それにかかわる「対話」「音読」「発表」を行いました。

これまで出会った本が少ない年齢の参加者にとって、他者から紹介される本との出会いは、興味や視野を広げ、新しい視点を与えてくれるものでありました。

11月2日の「ことばの冒険 遠足 DAY」は、「大大大（お～～）むかしの地球を冒険しよう！」をテーマに、ジオパーク展示室のある銚子市地域交流センターにて実施しました。ジオガイドの方の解説を聞き、実物の化石を目で見、手で触り、太古の地球に触れてきました。恐竜クイズや、恐竜のタマゴを探す屋外活動の他、午後の「ことばの冒険ブースをまわろう」では、読み聞かせやクイズ、短歌づくりなど、ことばに関わるブースを5つの班に分かれて回りました。教室から外へ出て、いつもと異なる空間で、五感を刺激する冒険ができた一日になりました。

各自がおすすめの本を紹介する発表会「ことばの冒険の旅」は今年度国語科研究校である明神小学校の体育館を、昨年、一昨年に引き続きお借りし開催。「ことばの冒険の部屋」の参加者以外も含め23名が参加しました。おすすめしたい本を、ことばや、時にはオリジナルの絵やクイズを交えて紹介するに至る作業は、低学年、中学年にとって簡単ではありませんが、それを乗り越える過程も冒険であり、伝えられた時の達成感が次につながると思います。

また、今年度新たな試みとして、来場者から発表者への感想・メッセージを寄せていただきました。入賞者数は限られますが、すべての参加者への目に見えるフィードバックをお渡しすることができました。

※アニメーション：スペインのジャーナリストであるモンセラ・サルト（1919-）が、子どもたちに読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すために1970年代から開発したグループ参加型の読書指導メソッド。アニメーションはラテン語のアニマ（魂・生命）に端を発し、人間の魂・生命を活性化するという意味。75種類にまとめられた個々の手法は「作戦」と呼ばれ、物語や詩の中にわざと間違いを入れて読み聞かせた上で間違いを探させたり、あらすじをクイズにして出題したりといったさまざまなプログラムがあり、深く読む習慣、読解力、コミュニケーション能力を養うことを目指す。（コトバンクより）

■ 銚子円卓会議への参画

協働によるまちづくりを進める銚子円卓会議に参画し、以下及び企業版ふるさと納税の推進、まちづくりワークショップによる学びの場、合意形成の場づくり等、銚子円卓会議協働事務局として活動しました。

- ◎ 「地域の可能性を拓く実践型人材育成（おとな・学生インターンシップ）が支えるローカルサービス生産性向上事業」 ※平成29年度～令和3年度：3年度目）

1) すきくるプロジェクト

① 地域通貨「すきくるスター」の流通促進を支える事務業務及び広報活動

- ・ 犬吠 WAON カード推進に係る業務の調整
- ・ オールスターズ各店舗に係る精算業務／業務フォロー／PR 活動
- ・ オールスターズ情報等掲載の「CHOSHI FANFUN BOOK」発行、配布
- ・ 地域通貨の研究（調査、実験、検証、結果の考察）
- ・ その他
 - * 「Happy Star キャンペーン」実施
チャージ金額に応じスターを付与。寄付付き商品が当たる抽選会を同時開催。
 - * インターン事業において活動支援金としてスター入り犬吠 WAON カードをインターン生に配布。
 - * 銚子市より銚子市成人式記念品として 500 スター入り犬吠 WAON カードを配布。

② 「この指とまれ！プロジェクト」の推進

- ・ 銚子版寄付のしくみの推進
 - 募金箱（この指とまれ！スターボックス）有志店舗・事業所に設置を開始。
 - 寄付付き商品（ギフトスター商品）拡充
 - 1点購入毎に、事業所から当プロジェクトへスターが寄付される。
 - ※上記商品は1点購入につき1スターの寄付だが、店舗により自由に設定可。

2) インターン支援事業（課題解決型インターンシップ事業の企画及び支援）

地方創生インターンシップ DELKUI 2020 において下記の通り支援。

① インターンシップ事業を効果的に推進するためのコーディネート

- ・ 住環境の手配
- ・ 最低限の生活用品の準備（家電、家具、生活・清掃用品、モバイル wi-fi など）
- ・ オープンスペースの提供（作業スペースとして共有、プリンター等の事務用品の共有）
- ・ 実践的指導（日報の確認、関係者への配信、インターン生へのフィードバック、中間研修の実施）
- ・ 関係機関との連絡調整等（円卓ナイト、ENTAKU 1 DAY 研修の実施） など

② 地域通貨を活用した支援の検討

- ・ 犬吠 WAON カードに 10,000 スターを付与し支給、及び利用状況のデータ抽出

③ インターンシップ事業に関する広報活動

- ・ 銚子円卓会議ホームページでの告知
- ・ SNS の活用（Facebook への投稿）
- ・ チラシの作成、及び配布の協力依頼

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
COM杯 英語・日本語 スピーチ大会	コミュニケーション能力としての語学力育成を目指す英語・日本語スピーチ大会	12月 15日	銚子商工会館 1階大ホール	30	市内外の学生 留学生、一般 45名	279,043
ことばの冒険の部屋 ことばの冒険の旅	すべての学びのもととなる「読書」に関わる教室及び発表会	9月～ 2月 月2回	すきくる ステーション 銚子市市民センター 銚子市 地域交流センター 市立明神小学校	15	小学校1年生 ～4年生 23名	53,190
すきくる プロジェクト	地域通貨の流通促進を支える事務業務及び、広報	通年	市内	10	一般	2,500,000
インターン支援事業	銚子円卓会議事業。課題解決型インターンシップ事業の企画及び支援	9月～ 3月	市内	5	大学生 企業 一般	1,800,000